

# 授業実践の記録

## 5年 特別の教科道徳

### 「伝えたい思い～南三陸から熊本へ～」熊本地震関連教材「つなぐ」

- ・ 東日本大震災・熊本地震の写真を提示して、地震の被害について知る
- ・ 「東日本大震災で東京の先生方からもらったバトンを、熊本にわたすことができた」とは、どのようなことかを考える
- ・ 「中松先生のように、笑顔を大切にしていきたい。」「復興の支援をしたい。」「自分にできることを手伝いたい。」などの感想を伝え合う

### 授業の様子



東日本大震災・熊本地震の様子の画像を見て、地震の被害について知る

熊本地震と5年前の豪雨災害について重ねて  
考える

書き終えた子供たちは、他の児童と交流を行  
う。他の子供の意見で、納得した考えについて  
は、色鉛筆で書き加える。

#### 【本時のねらい】

「私たちの生活は、多くの人々の支えや  
助けによって成り立っていることに気付  
き、そのことを応援しようとする心情を  
育てる」

※ 中松先生の気持ちを考えることによ  
り、自分は何ができるかを考えること  
ができた。中松先生が「笑顔」を大  
切にされたことから、笑顔で人の支えに  
なりたい、笑顔でボランティアをした  
いなどの感想をもつことができた。

1 中松先生が「東日本大震災で東京の先生方からもら  
ったバトンを、熊本にわたすことができた」とは、どのようなこ  
よう。

（中松先生）にほんの人たちを元気づけるって  
（中松先生）の意見でいいます。  
東京の先生はかなと曰いおう。  
・あくまでまよふん、もせんがねくは算数にてない  
・せきかずかんよ、いわく  
（中松先生）

2 中松先生のように、自分にできることはありますか。

（中松先生）してかにかなといふんがねくは算数にてない  
（中松先生）いっしょにみんなで元氣づけたりして  
（中松先生）して（中松先生）  
（中松先生）いふんが（中松先生）も身を出したいでも  
（中松先生）笑顔を大切にして、おもひのんを助けて  
（中松先生）おもすくらいてすね

1 中松先生が「東日本大震災で東京の先生方からもら  
ったバトンを、熊本にわたすことができた」とは、どのようなこ  
よう。

（中松先生）にほんの人は、あくまでかにほんの  
（中松先生）にほんの人よ。たがく、さけんだと  
見えて、見えて、ひるんとしそうねえな。おひだり  
（中松先生）

2 中松先生のように、自分にできることはありますか。

（中松先生）大雨、津波、大雪のさかいがあるた  
（中松先生）（中松先生）たまに、人がおとせりにしちて  
（中松先生）たまに、あくまでかにほんの  
（中松先生）（中松先生）（中松先生）して天気づけよ  
（中松先生）（中松先生）おひだりにかがよ、天気づけよ。  
（中松先生）（中松先生）おひだりにかがよ、天気づけよ。  
（中松先生）（中松先生）おひだりにかがよ、天気づけよ。  
（中松先生）（中松先生）おひだりにかがよ、天気づけよ。

### 〈参考資料・教材等〉

熊本地震関連教材『つなぐ』活用事例集 東日本大震災・熊本地震の画像